



地域支援ネット架け橋

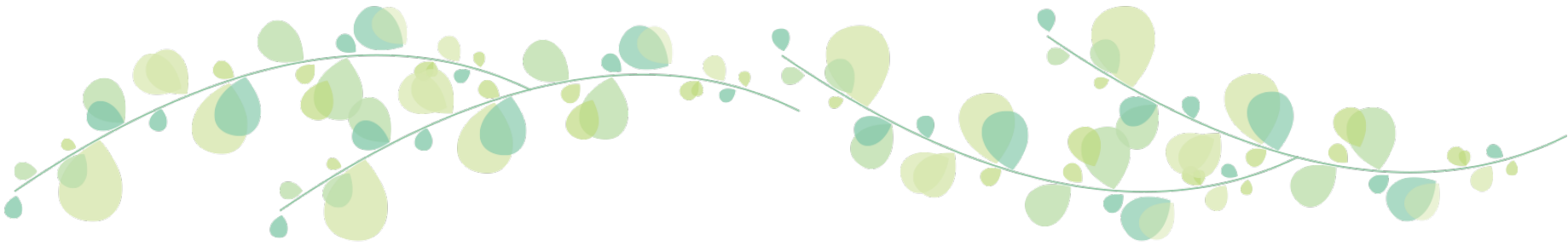
ニュースレター 2月号

くすぶる灯芯を消すこともなく

2018年3月7日 発行 No.21

傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともなく、真実をもってさばきを執り行う。

イザヤ書42章3節



架け橋スタッフからお祈りの感謝とご報告

前回のニュースレターならびに本人のFacebookにも掲載した中澤竜生氏の目の問題についてお祈りいただき、ありがとうございます。昨年末から目に問題が出たため、運転に支障をきたすと判断し、片道3時間かかる訪問先への運転をやめ、休養を心がけておりました。

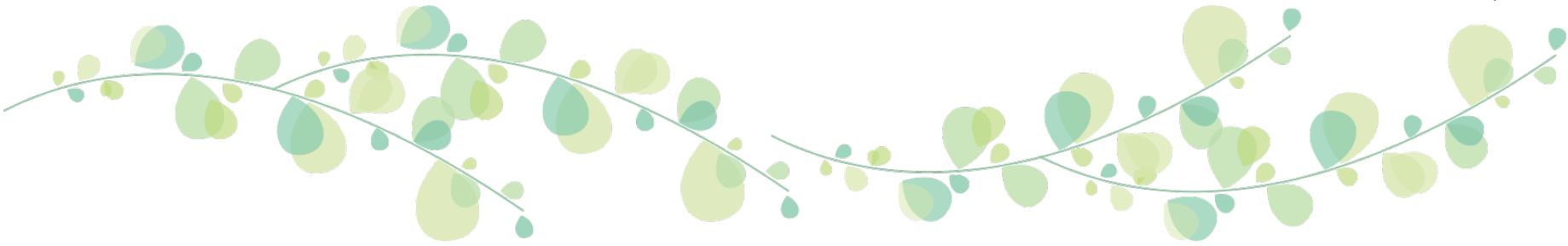
それと同時に通院により診察を受けた結果、中心性漿液性脈絡網膜症（ちゅうしんせいしょうえきせいみやくらくもうまくしょう）という病名であることが判明しました。

医師によると病状は悪化していないためしばらく経過を見とのことです。

次回は半年後に検査を受ける予定です。

皆様にはご心配をおかけしますが、引き続き中澤竜生氏の健康改善のためにお祈りをお願い申し上げます。

スタッフ一同



自治会との関わり（文責：中澤 竜生）

① 支援活動における課題

私は、支援活動は支援を受ける側が「健やかな生活を営む」ことを目標とするという点で宣教と共通しているように思います。それは、支援活動にしても宣教にしても個人あるいは世帯との関係に重きを置き、継続的に働きかけるものであるからです。しかし、支援活動の多くは継続が難しくなり、撤退する支援者がほとんどです。

そして、支援者が去ることにより支援を受ける側に課題が残ります。その課題とは、支援を受けた人が自立するまでに至っていないことにより、健やかな生活を営めないことです。中には支援を受ける以前よりも状況が悪くなることもあります。

また、宣教においても同様のことが言えます。理由は様々ですが、伝道者が宣教している地域を去ってしまうことがしばしばあります。伝道された人にとって、伝道者がその地域にいる間は心強さがあり信仰を継続しやすいのですが、伝道者が去った後は孤立感を覚えやすいのです。

支援された人が健やかな生活を営むため、伝道された人がクリスチャンとして信仰を継続して成熟に向かうためにも、架け橋は「土壌開拓」をしなければいけません。土壌開拓とは、その地域に根ざすことです。支援活動においては地域コミュニティの看板ともなる「自治会」がその要となります。

② 自治会との関わり メリット

しかしながら、自治会も様々な問題と向き合っています。時には、どのように対応して良いのか分からず、会議で話し合うべきかどうかを相談されることがあります。また、心底から悩み、隣人のために苦しんでいる自治会も少なくありません。昨年の活動では特にそのような自治会に微力ながらも協力してきました。

その中で、私は自治会に協力することにはメリットとデメリットがあると感じました。メリットとは、共に助け合うことで私（牧師）をクリスチャンとして理解してもらえることです。

自治会の方々にとって私は地域外者なので真に困っていることを相談しやすいようです。その相談に微力でも応えることが信頼に繋がります。そして、信頼をきっかけにして聖書の教えを伝えることができます。聖書の教えといっても様々ですが、私は相手が信仰を持つまでに至らなくても、生きるうえで徳となるようなことを提案してきました。また、それを機に自治会のあり方が徐々に変わってきていることを垣間見る場面がいくつもありました。



③ 自治会との関わり デメリット

反対にデメリットとは悪い噂により支援活動の輪が広がりにくいことです。

地域には自治会反対者がいるものです。例えば、何をやっても抜け目を見つけ文句や愚痴を言う人、会長（区長）が嫌で反対する人です。私が関わってきた地域での自治会反対者は、自治会を応援しようとする支援者には自治会の悪口を言って「気をつけろ」とアドバイスをしてくれます。しかし、他方では支援者の悪口を言い、「地域に迷惑をかけている」という噂を広めてしまうのです。そして、同じ地域に住む弱い立場の人は噂を信じ、その支援者と関わらないようにします。

こうした噂は周囲に伝わるごとに尾ひれを付けていき、どんどん広められていきます。深刻な場合はまだ関わったことのない地域にもかかわらず、その支援者が受け入れられないといった事例もあります。

このように、協力という形でないやり方で返ってくることがあり、自治会の方々は心を痛めます。地域に優しさや豊かさを育もうとして取り組んでいますが、真逆のことが帰ってくるからです。そこに寄り添うことも私たちの役割の一つです。ただ寄り添うのではなく、聖書の教えを通して課題と向き合い、自治体の方々が希望を持てるように心がけています。

④ 自治会との関わり ー今後の課題

自治会のすべてが良いものとは私自身も思ってはいません。なぜなら、人の考えには配慮に欠ける時もあるからです。ですが、それでも自治会は地域全体をまとめていかなければなりません。私たちにはその自治会と共助しつつ、地域に住む方々と信頼を深める努力が必要です。

自治会に対して無関心な人もいます。ですが、自治会に変化が起これば自然と無関心ではいられなくなるものと思っています。

ですから、私は自治会を支援する一方で、地域に住む方々とのコミュニティも建設的に育んでいきたいと考えています。特に今年は自分の体調、時間、経済に留意し、緩やかに関わっていきます。

緊急支援について（文責：中澤 竜生）

今年も「いじめ」「離婚世帯」「困窮者」「孤立」「独居老人」などの問題を抱える地域支援を継続します。

また、場合によっては専門アドバイザーに繋げる緊急支援も行います。以前ニュースレターにて紹介した「扶助基金」は地域のリーダーによって正しく活用されていますが、取り組む地域と条件が限定されているので他地域では利用できません。

しかし、私の活動は限定地域外のケースも多いため、限定地域外から相談を受けた困窮者への対応を専門アドバイザーにつなげたり、「フードバンク」等の支援団体及びNPO法人の法律専門家等に共助をお願いすることで緊急支援を行うことが可能です。

3.11追悼セレモニーのご案内

3月11日に「宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会準備委員会」主催の追悼会セレモニー「愛と希望のコンサート」を開催します。今年は会場を三ヶ所に分け、それぞれの場所で震災を偲ぶ時を持つことを予定しています。

また、その前日には南三陸町にある「ホテル観洋」にて合同追悼会セレモニーが行われます。

10日、11日どちらも豪華アーティストが「愛と希望」を音楽とともに提供してくださいます。ぜひ覚えてご参加ください。



架け橋スタッフから献金のお願い

日頃から地域支援ネット架け橋とその活動に従事する中澤竜生氏を覚えてお祈りとご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

お陰さまで今年も地域支援ネット架け橋の活動を始めることができました。

今月開催される追悼会セレモニー「愛と希望のコンサート」をはじめ、私たちは今年も様々な活動を通して被災者の方々に寄り添いたいと考えております。

また、そのためには同じ志を持ってともに現場で働く支援者の方々の存在も決して欠かせません。

そして、地域支援ネット架け橋の活動の継続を応援してくださる皆様の厚いご支援によって私たちは支えられております。

依然として中澤竜生氏による宣証の活動を守るための活動費年間300万円を必要としております。

必要な活動費が満たされること、また地域支援ネット架け橋の支援の輪が広がるように呼びかけてくださると感謝でございます。（活動の費用内訳については会計ページをぜひご覧ください。）

尊いご支援に心から感謝いたします。

前回繰越金：47,000円

献金収入：350,000円（2018年1月1日－2018年2月28日）

ご献金を捧げて下さった団体様および個人様（敬称省略 順不同）

日本イエス・キリスト教団京都聖徒教会、佐藤由紀夫、伊勢原聖書キリスト教会、
金原雅子、清瀬グレースチャペル、萱島キリスト教会、基督聖協団信徒会、
東北ヘルプ、サンタ♡プロジェクト九州、上海たんぽぽ、
焼津巡回所（基督聖協団）、基督聖協団仙台宣教センター

献金支出:346,000円(2018年1月1日－2018年2月28日)

（内訳）車両費交通燃料費 63,500円（車両経費含む）、事務費、通信費 24,000円、
啓蒙活動費 0円、ネットワークサポート、慶弔費 5,000円、追悼会支援費50,000円、
茶話会(Cafe)地域／自治会コミュニティ支援費 30,000円、年中行事支援 0円、
困りごと支援 0円、雑費 3,500円、架け橋スタッフ費 170,000円

次回繰越金：51,000円

－ ご協力のお願い －

銀行名：七十七銀行 宮城町支店

口座番号：普通 5497795

名義：キリスト聖協団西仙台教会かけはし会計 中澤佳子

ゆうちょ銀行口座名義：地域支援ネット架け橋(チイキシエンネットカケハシ)

店名：二二九店(ニニキュウ) (229)

口座の記号・番号：02290－3－141031

当座：0141031

PayPal(ペイパル)を利用してクレジットカードの支払いができます。

* これにより海外より応援していただくことも可能です。



PayPal検索用アドレス：yoshiko.n36@gmail.com

事務局：地域支援ネット架け橋

所 在：宮城県仙台市青葉区愛子東3-14-22

発行元：山形県天童市三日町二丁目6-14

電 話：090-1069-3925

事務スタッフ：中澤佳子、中澤義道、中澤愛美

◆お問い合わせはこちらのメールアドレスへ → kakehashi.net@gmail.com

◆地域支援ネット架け橋の活動内容はこちらのHPから → <https://www.kakehashi2013.com>